



# 闘争委員会情報

2007年8月17日

第1号

JR東海労新幹線地本

## 会社は「就業制限」を撤回しろ！



7月13日の会社と権力が一体となった不当弾圧から一ヶ月が過ぎました。そして、被疑者とされた名古屋地本の組合員への「就業制限」もいまだ解かれていません。私たちは、このように無実の人間を、犯罪者に仕立て上げる「えん罪」に断固立ち向かいます。

また、労働組合でありながら国家権力による「えん罪事件」に加担（組織情報で宣伝）するユニオン組合を断じて許すことはできません。

## 闘争破壊のための不当弾圧を許さない！！

私たちは真実をもって、わが組合員の職場復帰を勝ちとります。

「犯罪者」にデッチ上げられた組合員はこの不当な弾圧にも、労働者として怒りをしっかりと持ちつつ、公安警察による四回の事情聴取に完全黙秘でたたかってきました。

一方会社は、刑事告訴したことについて、「適正調査して当該社員と判断した」としていますが、組合員が被疑者とされる証拠など何ひとつないことは明白なことです。この「えん罪事件」は、JR東海労の「主任レポート反対のたたかい」に危機感をもった会社が「職場最先頭で闘っている組合員を狙って」刑事告訴をした闘争破壊なのです。

## 不当弾圧に抗して今こそ職場闘争を強化しよう！

JR東海労は名古屋市公会堂において、『不当家宅捜索糾弾！デッチ上げ「窃盗」容疑粉碎！不当就業制限弾劾！8・10総決起集会』を開催しました。

東一両・東二両分会は抗議のビラ配布行動を職場から展開しています。また、東京地区分会は抗議の意思を明確にして主任レポート反対のたたかいを展開しています。

公安警察と会社が一体となった不当なデッチ上げえん罪を粉碎するため、今こそ職場に根付いた組合活動を堂々と推し進めよう！